

# 薬剤性過敏症症候群の重症関連因子解析に関する研究

## 研究の背景・目的

致死的な重症薬疹のひとつである薬剤性過敏症症候群は、2005年に疾患概念が提唱されましたが、重症関連因子解析に関する研究については十分に行われてきておりませんでした。今回、重症度評価項目の選定を行うため、患者さんの診療情報をカルテより抽出して統計解析し、正確な予後因子を検討します。

## 研究の対象となる方

2010年4月から2017年3月の間に奈良県立医科大学皮膚科で薬剤性過敏症症候群と診断され入院された方

## 研究の方法

この研究は島根大学医学部皮膚科を中心として行うもので、(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))「重症多形滲出性紅斑に関する調査研究」に参加する全国13施設が参加予定です。本学においては、本学の医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得て行っている研究です。薬剤性過敏症症候群と診断されて治療をうけられた患者さんのカルテに記載されている、年齢、性別、基礎疾患、脈拍、血圧、呼吸数、意識障害、血液検査結果、合併症、治療内容とその結果を抽出し検討致します。調査票の項目には氏名、生年月日、カルテ番号など個人を特定できる情報は記入せず、各医療機関が割り振った研究用の症例番号で識別します。これらの情報は島根大学で収集され、統計解析を行い、薬剤性過敏症症候群における重症度評価項目を選定し、予後との関連について検討し、適切な治療指針の作成に役立てます。研究結果は学会発表や論文公表を行う予定ですが、患者さんが特定できる情報は用いません。

## 研究の期間

研究許可日～2021年3月31日

## 同意の撤回について

患者さんまたは代理人から同意の撤回又は拒否があった場合には、遅滞なく、当該撤回又は拒否の内容に従った措置を講じます。同意撤回をしても不利益を被ることはありません。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいこととお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は研究責任者にご連絡ください。

研究責任者：奈良県立医科大学皮膚科学教室講師 宮川 史  
0744-22-3051 (内線 2336)